

## 豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果

県では、“どのような洪水にあっても人命が失われることを避ける”ことや“生活再建が困難となる被害を避ける”ことを目的に、流域治水対策として河川整備や維持管理などの「ながす」対策をはじめ、水害に「そなえる」対策、被害を最小限に「とどめる」対策を県民の皆さんと協働で取り組んでいます。

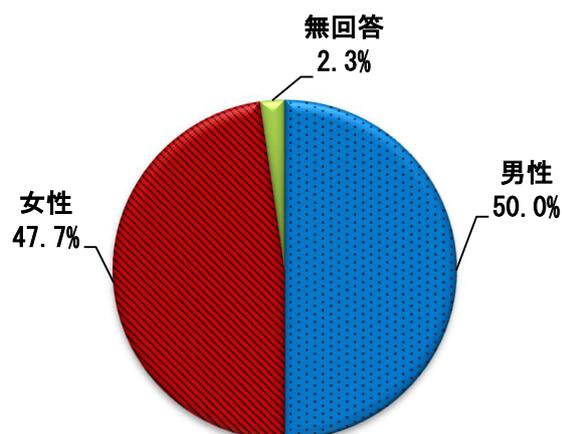
県民のみなさんの豪雨災害に関する認知度を把握し、今後の施策検討の参考とさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

- ★ 調査時期：令和5年11月
- ★ 対象者：県政モニター 295人
- ★ 回答数：262人（回収率88.8%）
- ★ 担当課：土木交通部 流域政策局 流域治水政策室

(※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合があります。)

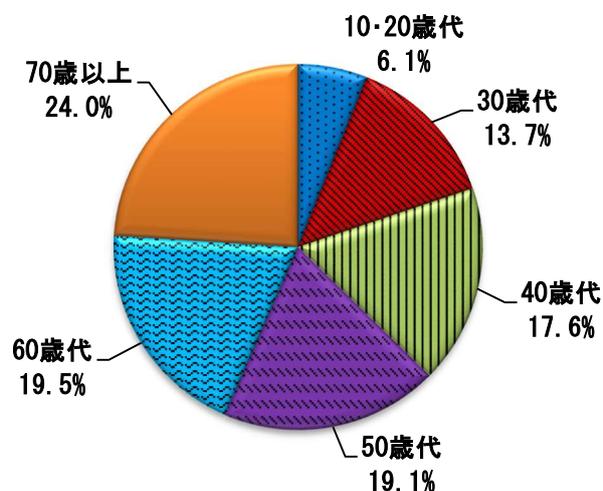
### ◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	131	50.0
女性	125	47.7
無回答	6	2.3
合計	262	100.0



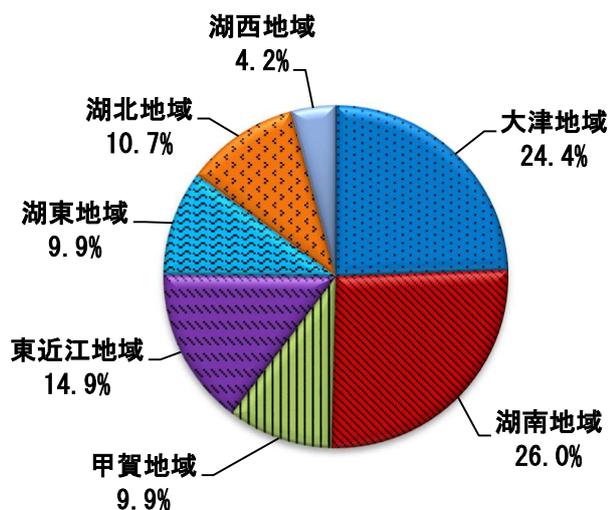
### ◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	16	6.1
30歳代	36	13.7
40歳代	46	17.6
50歳代	50	19.1
60歳代	51	19.5
70歳以上	63	24.0
合計	262	100.0



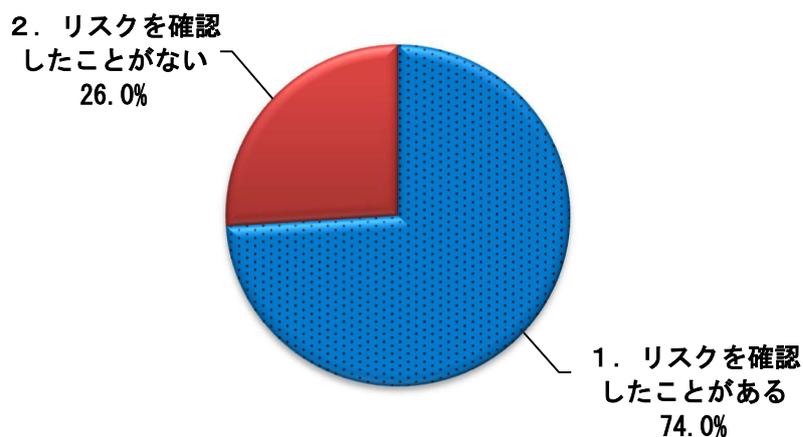
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	64	24.4
湖南地域	68	26.0
甲賀地域	26	9.9
東近江地域	39	14.9
湖東地域	26	9.9
湖北地域	28	10.7
湖西地域	11	4.2
合計	262	100.0



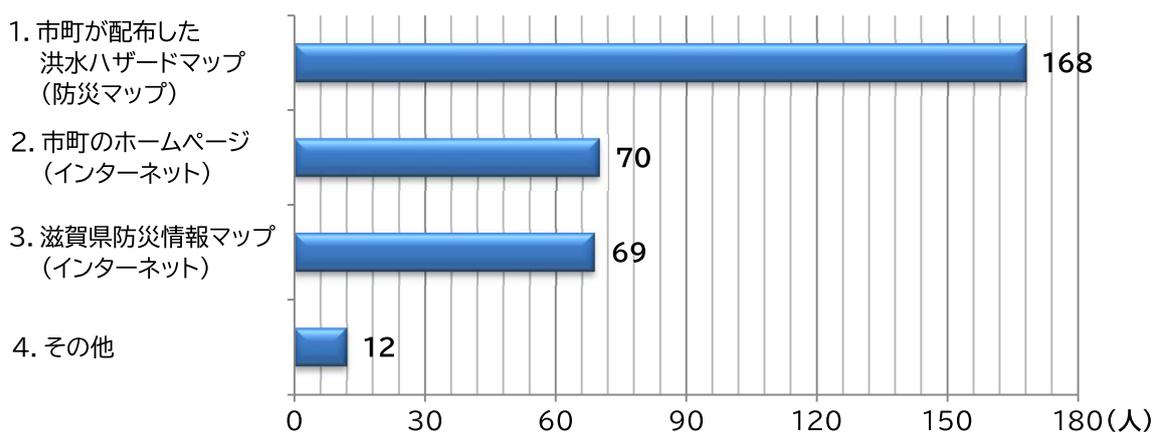
問1 近年、全国各地で水害や土砂災害が毎年発生しており、報道等により事前にリスクを確認するよう広報されていますが、あなたのご自宅のリスクを確認したことがありますか。(回答チェックは1つだけ n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
1. リスクを確認したことがある	194	74.0
2. リスクを確認したことがない	68	26.0
合計	262	100.0



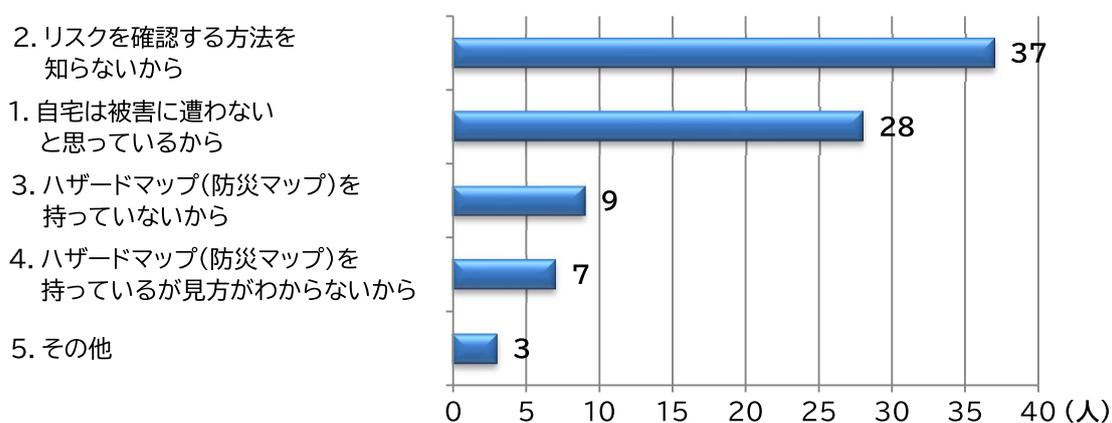
問2 問1で「1. リスクを確認したことがある」と回答された方にお聞きします。それはどのような方法で確認しましたか。(回答チェックはいくつでも n=194)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 市町が配布した洪水ハザードマップ(防災マップ)	168	86.6
2. 市町のホームページ(インターネット)	70	36.1
3. 滋賀県防災情報マップ(インターネット)	69	35.6
4. その他	12	6.2



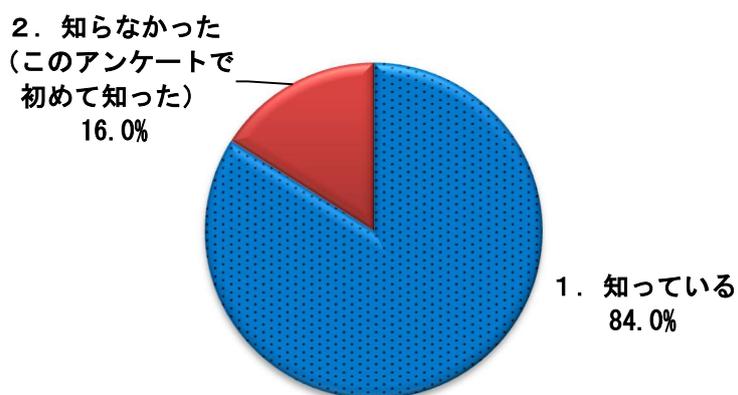
問3 問1で「2. リスクを確認したことがない」と回答された方にお聞きします。自宅のリスクを確認しない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=68)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 自宅は被害に遭わないと思っているから	28	41.2
2. リスクを確認する方法を知らないから	37	54.4
3. ハザードマップ(防災マップ)を持っていないから	9	13.2
4. ハザードマップ(防災マップ)を持っているが見方がわからないから	7	10.3
5. その他	3	4.4



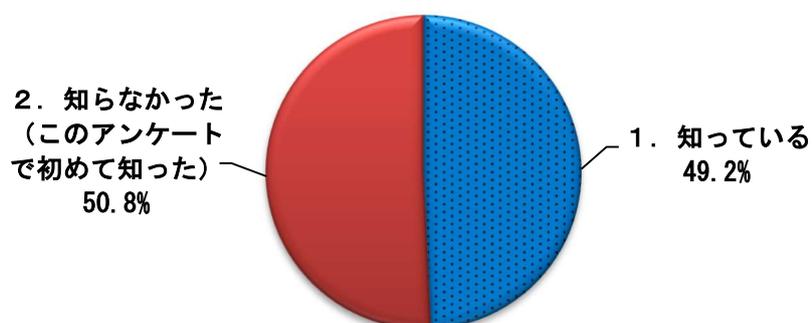
問4 浸水する原因として、大きな河川の氾濫による浸水(外水氾濫)以外に、用排水路や小さな河川の氾濫により浸水(内水氾濫)する場合がありますか。  
 (回答チェックは1つだけ n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	220	84.0
2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	42	16.0
合計	262	100.0



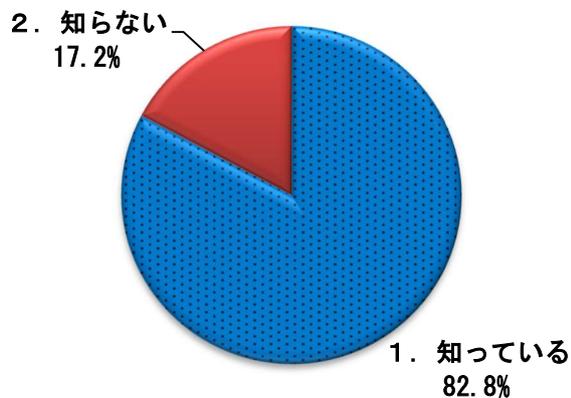
問5 滋賀県では、大きな河川の氾濫だけではなく、身近な水路や小河川の氾濫も含めた「地先の安全度マップ」という水害リスク図を公表しています。あなたは、「地先の安全度マップ」を知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	129	49.2
2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	133	50.8
合計	262	100.0



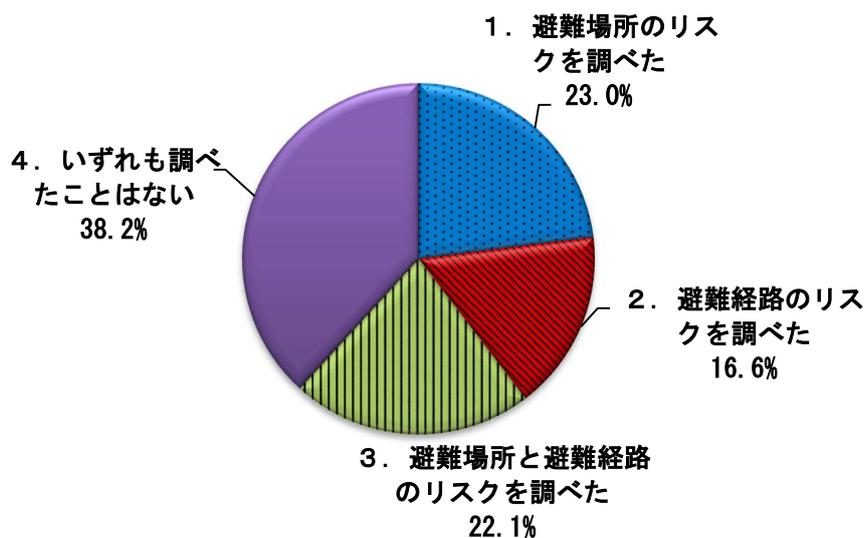
問6 あなたは、豪雨災害が発生した場合に市町が指定する避難場所を知っていますか。  
 (回答チェックは1つだけ n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	217	82.8
2. 知らない	45	17.2
合計	262	100.0



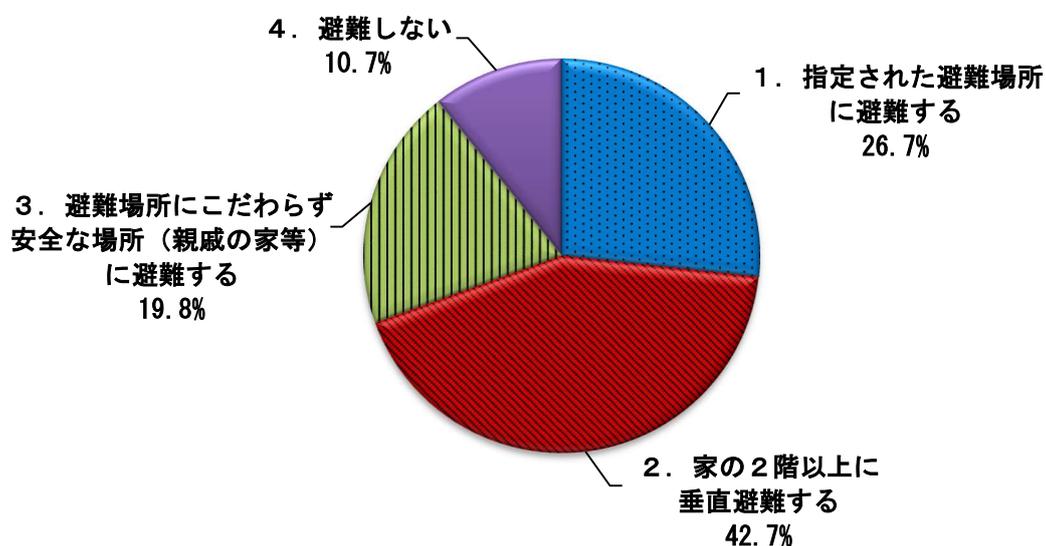
問7 問6で「1. 知っている」と回答された方にお聞きします。避難場所や避難場所へ行く経路のリスクを調べたことがありますか。(回答チェックは1つだけ n=217)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 避難場所のリスクを調べた	50	23.0
2. 避難経路のリスクを調べた	36	16.6
3. 避難場所と避難経路のリスクを調べた	48	22.1
4. いずれも調べたことはない	83	38.2
合計	217	100.0



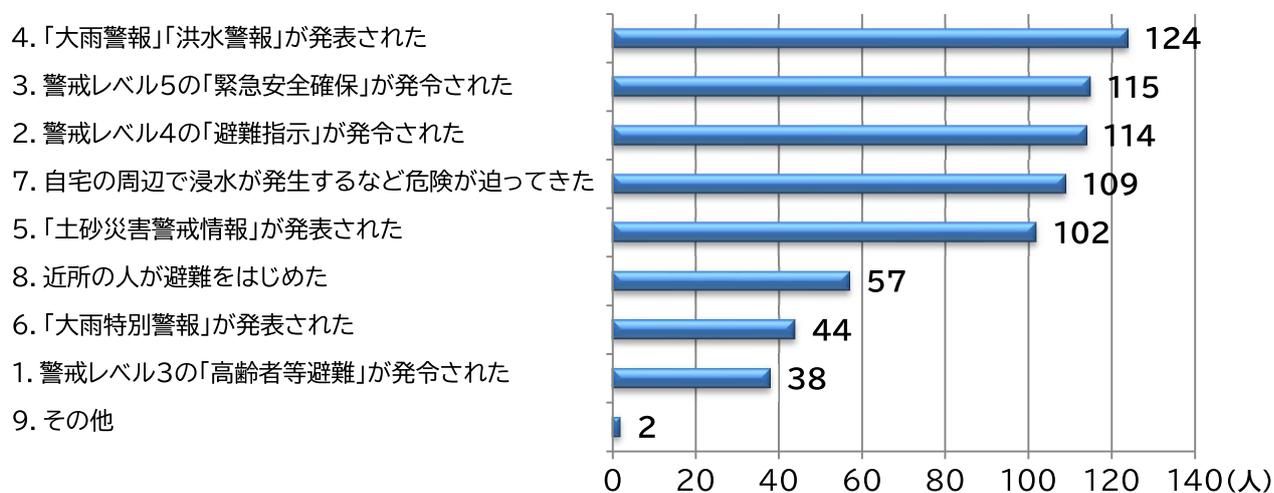
問8 ご自宅にいる時に周りで水害や土砂災害の危険性が高くなってきた場合、あなたはどのような行動をとると思いますか。この中からお考えに最も近いものを選んでください。(回答チェックは1つだけ n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 指定された避難場所に避難する	70	26.7
2. 自宅の2階以上に垂直避難する	112	42.7
3. 避難場所にこだわらず安全な場所(親戚の家等)に避難する	52	19.8
4. 避難しない	28	10.7
合計	262	100.0



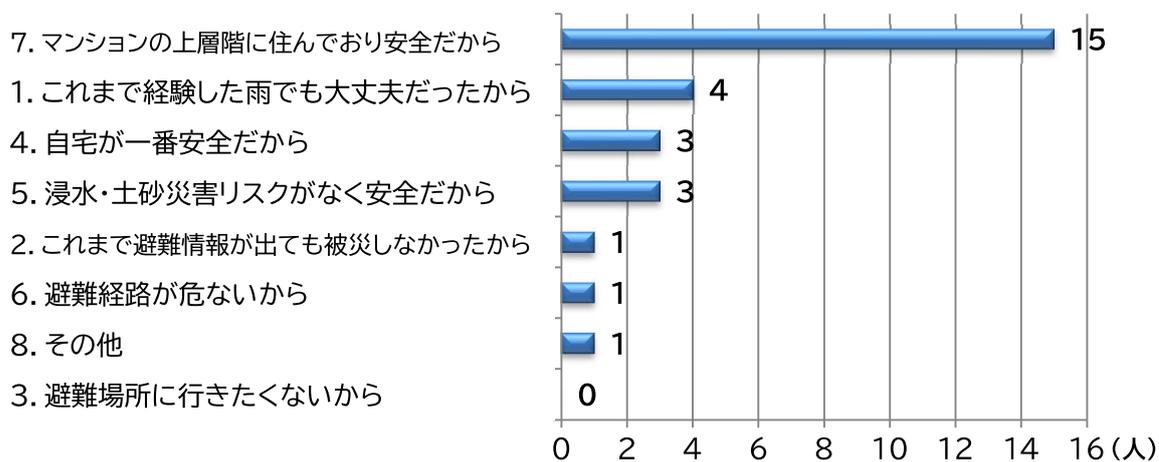
問9 問8で「1.指定された避難場所に避難する」「2. 自宅の2階以上に垂直避難する」「3. 避難場所にこだわらず安全な場所(親戚の家等)に避難する」と回答された方にお聞きします。避難を開始するタイミングについて、お考えに最も近いものを選んでください。(回答チェックはいくつでも n=234)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 警戒レベル3の「高齢者等避難」が発令された	38	16.2
2. 警戒レベル4の「避難指示」が発令された	114	48.7
3. 警戒レベル5の「緊急安全確保」が発令された	115	49.1
4. 「大雨警報」「洪水警報」が発表された (警戒レベル3相当情報)	124	53.0
5. 「土砂災害警戒情報」が発表された (警戒レベル4相当情報)	102	43.6
6. 「大雨特別警報」が発表された (警戒レベル5相当情報)	44	18.8
7. 自宅の周辺で浸水が発生するなど危険が迫ってきた	109	46.6
8. 近所の人が避難をはじめた	57	24.4
9. その他	2	0.9



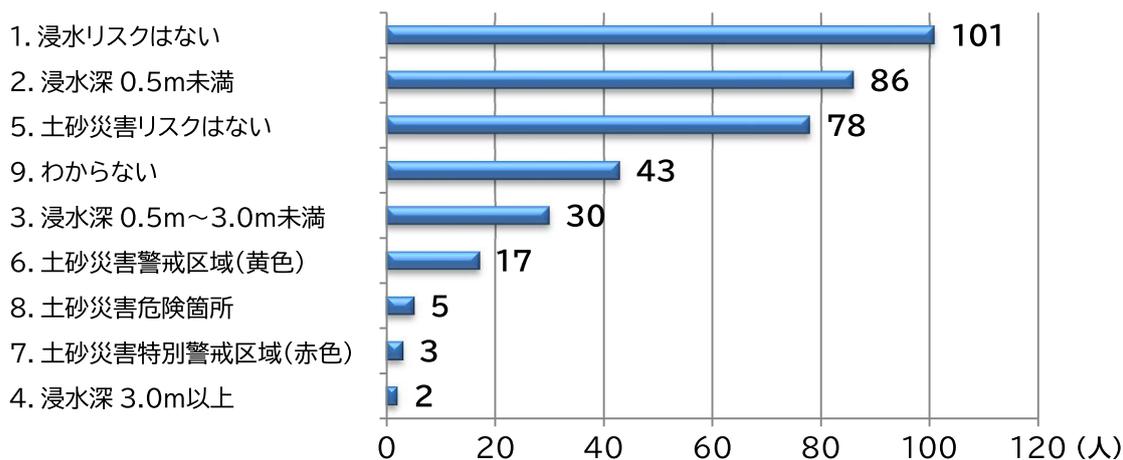
問 10 問8で「4. 避難しない」と回答された方にお聞きします。避難しない理由は何ですか。お考えに最も近いものを選んでください。(回答チェックはいくつでも n=28)

項 目	人数(人)	割合(%)
1. これまで経験した雨でも大丈夫だったから	4	14.3
2. これまで避難情報が出ても被災しなかったから	1	3.6
3. 避難場所に行きたくないから	0	0
4. 自宅が一番安全だから	3	10.7
5. 浸水・土砂災害リスクがなく安全だから	3	10.7
6. 避難経路が危ないから	1	3.6
7. マンションの上層階に住んでおり安全だから	15	53.6
8. その他	1	3.6



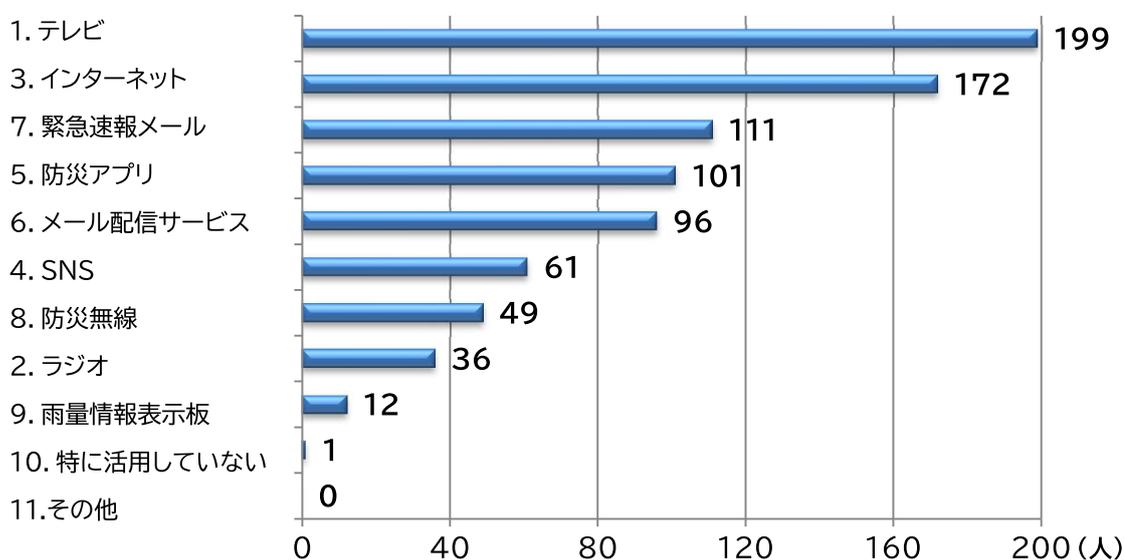
問 11 「滋賀県防災情報マップ」で、ご自宅の浸水リスク・土砂災害リスクをお調べいただき、ご回答をお願いします。ご自宅の浸水リスク、土砂災害リスクはどれに該当しますか。(回答チェックはいくつでも n=262)

項 目	人数(人)	割合(%)
1. 浸水リスクはない	101	38.5
2. 浸水リスクは浸水深 0.5m未満である(床下浸水)	86	32.8
3. 浸水リスクは浸水深 0.5m～3.0m未満である(床上浸水)	30	11.5
4. 浸水リスクは浸水深 3.0m以上である(2階浸水)	2	0.8
5. 土砂災害リスクはない	78	29.8
6. 土砂災害警戒区域(黄色)に該当する	17	6.5
7. 土砂災害特別警戒区域(赤色)に該当する	3	1.1
8. 土砂災害危険箇所に該当する	5	1.9
9. わからない	43	16.4



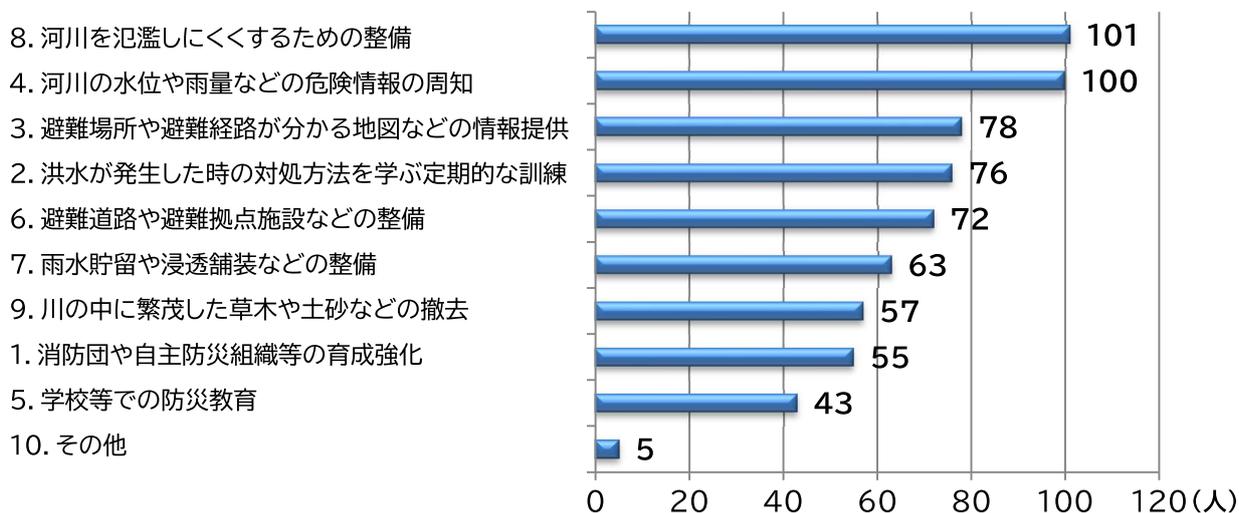
問 12 豪雨災害時の情報取得手段として、あなたがよく活用しているものを選んでください。(回答チェックはいくつでも n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
1. テレビ	199	76.0
2. ラジオ	36	13.7
3. インターネット(ウェブサイトの閲覧)	172	65.6
4. SNS(X(旧 Twitter)、フェイスブック等)	61	23.3
5. 防災アプリ (市町やNHK、ヤフー等が提供するアプリ)	101	38.5
6. メール配信サービス (しらがメール、市町のメール配信サービス)	96	36.6
7. 緊急速報メール (対象エリアの携帯電話に対して情報を知らせるサービス)	111	42.4
8. 防災無線	49	18.7
9. 道路沿いなどにある雨量情報表示板	12	4.6
10. 特に活用していない	1	0.4
11. その他	0	0



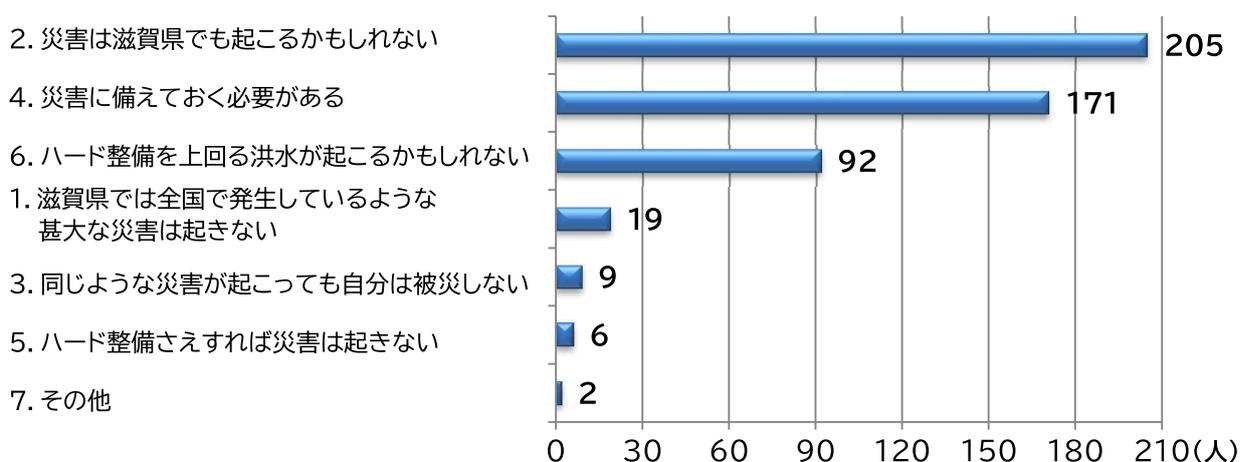
問 13 洪水から命や財産を守るため、あなたは県や市町の行政に対してどのような取り組みを望めますか。重視して進めるべきと考えるものを選んでください。  
(回答チェックは3つまで n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 消防団や自主防災組織等の育成強化	55	21.0
2. 洪水が発生した時の対処方法を学ぶ定期的な訓練	76	29.0
3. 洪水が発生した時の避難場所や避難経路が分かる地図などの情報提供	78	29.8
4. 河川の水位や雨量などの危険情報の周知	100	38.2
5. 学校等での防災教育	43	16.4
6. 避難道路や避難拠点施設などの整備	72	27.5
7. 雨水貯留や浸透舗装など、雨水が川に流れ込む量を少なくするための整備	63	24.0
8. 河川を氾濫しにくくするための整備	101	38.5
9. 川の中に繁茂した草木や土砂などの撤去	57	21.8
10. その他	5	1.9



問 14 近年、全国各地で水害や土砂災害が発生しており、甚大な被害が生じています。これらの災害から感じることにについてあなたのお考えに近いものを選んでください。  
(回答チェックはいくつでも n=262)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 滋賀県では全国で発生しているような甚大な災害は起きない	19	7.3
2. 災害は滋賀県でも起こるかもしれない	205	78.2
3. 同じような災害が起こっても自分は被災しない	9	3.4
4. 災害に備えておく必要がある	171	65.3
5. ハード整備さえすれば災害は起きない	6	2.3
6. ハード整備を上回る洪水が起こるかもしれない	92	35.1
7. その他	2	0.8



問 15 水害や土砂災害の被害を少なくするため、個人や地域ではどのようなことに留意する必要があると思いますか。ご意見がありましたら記入してください。(抜粋)

#### 【個人で留意すること】

- ハザードマップで地域の水害リスクを確認する。
- 危険なところに住んでいる場合は、速やかに避難できるよう、準備をしておく。
- 危険が迫ってきたら、早めに情報を察知して的確な行動をとる。
- 自然災害についてはどうしようもないかもしれないが、それを最小限にとどめるため、ひとりひとりが努めるべきである。
- 過去の水害や土砂災害がいつどこでどのようにして発生し、どのような被害があったのかを具体的に知る必要があると思う。
- とにかく避難場所を把握しておく。

#### 【地域で留意すること】

- 定期的に避難訓練を実施する。
- 災害に備えて防災備品を計画的に準備し、地域住民が誰でも使えるようにしておく。
- 美化作業や自衛消防などを通じて、地域の災害リスクを知る。
- 町内自治会の活動を活性化させる必要がある。
- 地域での防災情報の共有が重要である。地域のつながりを大切にして、災害が起こった時に、ご近所での助け合いや声掛けが出来る環境づくりが必要だと思う。
- 個人や地域では大規模な対策はできないため、日頃から危険箇所を確認しておき、避難の際にはその近くに行かないことや、避難ルートを確認しておくことを家族と地域で徹底したい。転勤や新築等で入れ替わりの多い地域に住んでいるので、防災ウォーキングなどを自治会で企画して、地域住民に意識付けするのも良いと思う。
- 日頃の備えや訓練が大事。周りに高齢者が多い事も課題で助け合いのための訓練も必要である。
- 自治会加入率の低下により、防災訓練の参加者の減少や固定化が進んでいる。自治会への加入の有無にかかわらず、つながりを持つきっかけづくりを積極的に行うことが必要だと思う。

#### 【その他】

- 危険性の高い地域のハード&ソフト両面での防災施策の実施、住民への防災意識付けを深める施策が重要である。
- 行政が定期的に河川の浚渫を行い、最大の流量が常に流れるようしておく。
- 違法な盛土など、災害に関連しそうな土地について、その利用や使用に関して、行政の監視が重要だと考える。
- 災害被害は年々増えてくると思う。災害発生を抑える対策に力を入れることは大事だが、どのように復興させるかということも大事だと思う。

- 地域住人が高齢化し、コミュニティの連携が一層大切になっていることから、行政は情報発信に加えて、定期的集まる機会を作ることを進めていただきたい。
- 水害等のリスクを分かりやすく PR する。宅地開発の時、水害防止のかさ上げ工事等を義務付けする。
- 防災マップが分かりにくい。もっと使いやすく、誰でも分かるように工夫してほしい。場所の分かりやすい建物の名前の表などがあると良い。